

地区広報

# はづ

No.31

羽津地区市民センター  
羽津地区社会福祉協議会

平成8年3月25日



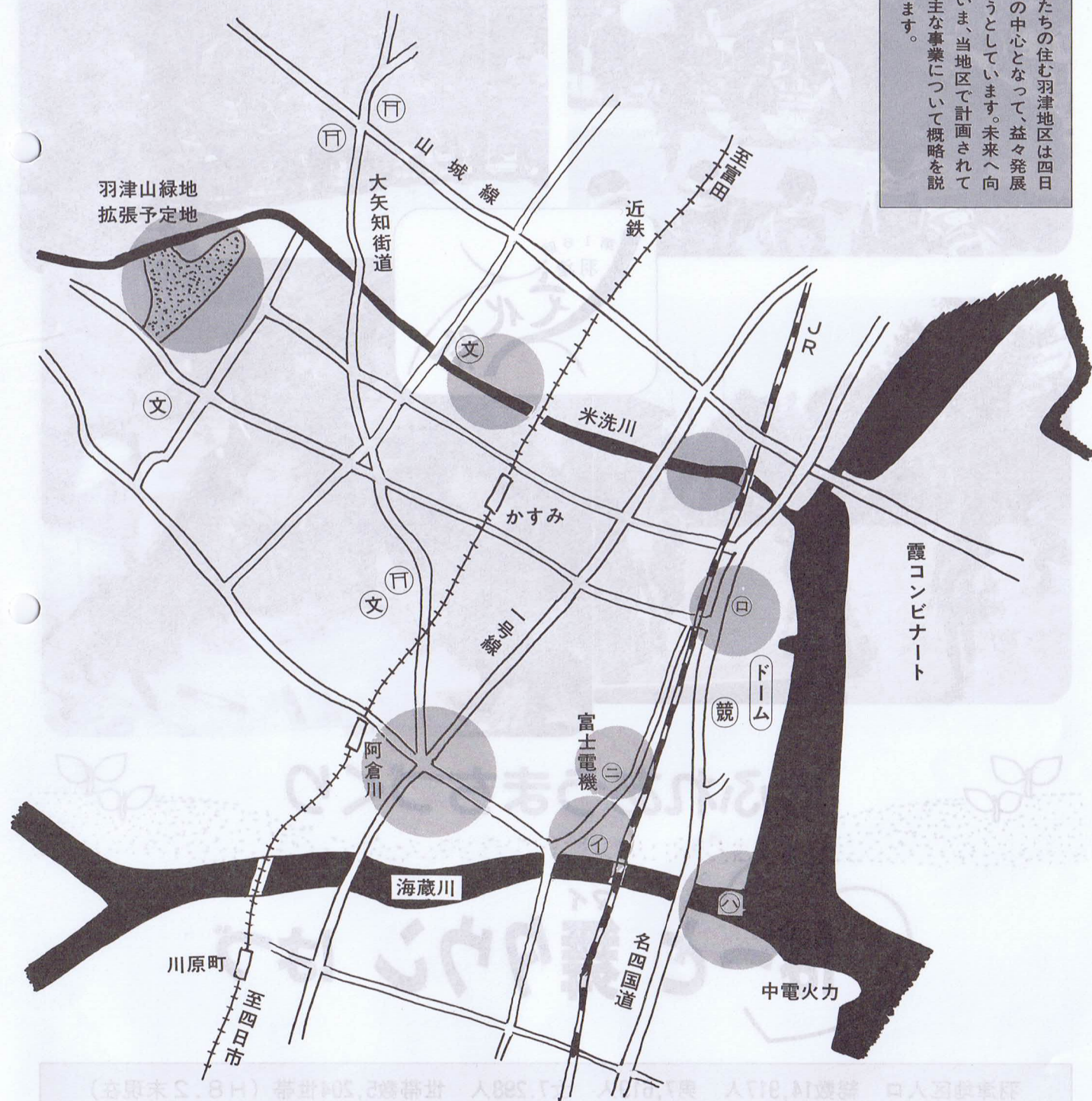
心ふれあうまちづくり

はーと <sup>マイ</sup>舞タウン はづ

羽津地区人口 総数14,917人 男7,619人 女7,298人 世帯数5,204世帯 (H8.2末現在)

# 羽津のまちは どう変わる！

私たちの住む羽津地区は四日市の中心となって、益々発展しようとしています。未来へ向け、いま、当地区で計画されている主な事業について概略を説明します。



## これからの事業計画のあらまし

一、羽津山緑地整備事業  
垂坂公園の北東隣接区域に、約十三ヘクタールにわたり平成十二年度にかけて公園整備が進められる予定です。

二、米洗川改修事業  
平成八年度から、近鉄線から西へ約八百メートル、川幅の拡幅と川底の掘り下げ等の整備が行われる予定です。

三、下水道整備事業  
現在までに霞ヶ浦町、白須賀町、城山町の一部が完成して、供用が開始されています。近鉄線東側から国道一号線の区間は、平成十年にかけて工事が行われ、その後、西側へ順次進められる予定です。

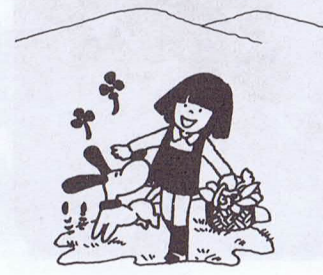
四、四日市ドーム完成に伴う道路整備計画  
四日市ドームは平成九年に完成の予定ですが、それに伴って心配される交通対策として、次の様に計画されています。

- (イ) 金場から、三重橋―垂坂線が名四国道へ延長接続。
- (ロ) 名四かすみ交差点が拡充され、西側からかすみ緑地へ接続。
- (ハ) 名四国道三重橋の東側に、かすみ緑地から午起への道路を建設。
- (ニ) 貨物ヤードの移転計画に伴って、富士電機東側の南北道路を拡幅。

五、その他  
国道一号線の金場交差点南北右折レーンの拡幅改良が計画されています。

(久志本 隆)

現在までに霞ヶ浦町、白須賀町、城山町の一部が完成して、供用が開始されています。近鉄線東側から国道一号線の区間は、平成十年にかけて工事が行われ、その後、西側へ順次進められる予定です。



## 羽津の人 社会奉仕一筋に！

霞ヶ浦町 奥村光子さん



二十七年間にわたる民生委員、児童委員活動の中で、地区総務をはじめ、上部組織である県や市の要職を歴任されました。その間の偉大な功績に対し数々の顕彰を受けられました。昨年十一月二十四日には厚生大臣表彰の栄誉に輝かれました。

民生委員在任中、特に心に残る思い出をお伺いしたところ、結婚相談所の相談員として初めてまとめたカップルの息子さんが成人し、お相手を探しに相談所を訪ねて来られたときの喜び。毎年、年賀状に家族の写真入りで「また一人子供が増えました」と近況を知らせてくれる若いカップル等、数えあげればキリがないそうです。

「人のお世話にならぬよう、人のお世話をするように、そして報いを求めぬように」を人生訓として、ご夫婦揃って活躍されている奥村さん。どこから出てくるのかと思われるエネルギーが活躍の原動力に頭の下がる思いがします。

### 略歴

- 民生・児童委員 昭和43年～平成7年まで
- 保護司 昭和48年～
- 母子福祉協力員 昭和50年～
- 人権擁護委員 平成1年～
- 三重県更正保護婦人会会長 平成7年～
- 手話サークル「はばたき」会長

# 挑戦しました 男の料理



困りました  
暮れの大雪



(第11回ゲートボール大会)



- 成績
- 優勝 羽津Bチーム
  - 二位 いかるが
  - 三位 羽津北PTA
  - 四位 別名A

# 地

# 区

# 行

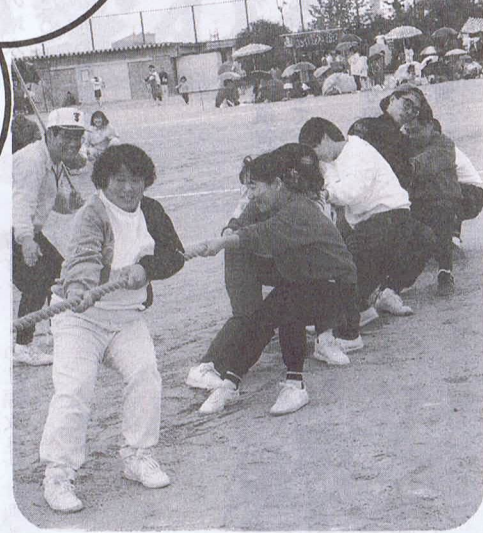
# 事

# ア

# ル

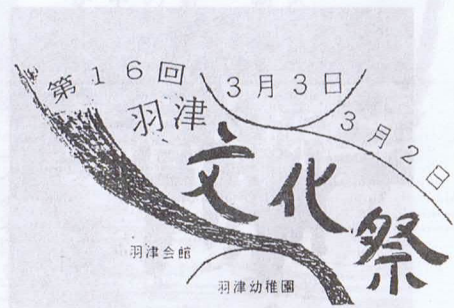
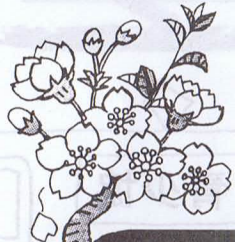
# バ

# ム



平成七年度  
地区運動会

小雨空を  
ふきとばして  
一日  
頑張りました



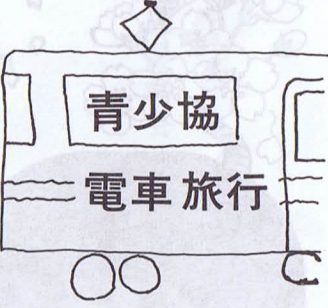
# 環境 交通安全部会 アジサイの 植樹

部会が発足して二年目、初年度は交通危険場所の点検を実施しました。平成七年度の事業について協議の結果、環境美化事業として「花いっぱい運動」を推進する。具体的には地区内の小学校周辺の通学路にアジサイを植樹し、これを継続して部会で育てていこうということになりました。

植樹の場所は、(1)米洗川の堤防道路の羽津北小学校沿いの路肩約六十メートル、(2)羽津小学校東正門前

の路肩約六十六メートルの間にそれぞれ三メートル間隔でアジサイの苗木を植える。三月三日の地区文化祭に合わせ各種団体の協力を得て実施しました。多くの皆様のご協力を得て、暖かく見守られてアジサイの花が美しく咲くことを切に祈ります。

「おはよう」駅に向かう子どもたちの元気な声。十一月五日お天気に恵まれた電車旅行。集合場所で、ワイワイ、ガヤガヤ、うれしさのあまりねむれなかった夕べのことなど。車社会で子どもたちまでも電車に乗る機会が少なくなってきた。今、楽しみにしている行事の一つが電車旅行のようです。友だち同士、お父さんやお母さんも一緒にやつを食べながら



ら、ゆったりと子どもとの団らんを楽しんでいたようです。和やかな車内でのひと時でした。鳥羽水族館では、オリエンテeringクイズを楽しんだり、イルカショーを見たり、広い館内を見るのにも時間がかり、忙しいスケジュールだったと思います。子どもたちの館内での会話、「ジュゴンのうんち大きいね」、「水の中にいるのに、ぼくらと同じようなんちするんやな」、「ペンギンさん、足が短く歩にくそうだけど、じゃあ歩いて歩くな」、「私、あのように歩いて歩いたら、すぐこけてしまうだろうね」。又、来たいなあ。



## 青少年育成部会 ウォークラリー

青少年育成部会が健康づくり事業としてウォークラリーを開催して早くも、三回目を迎えました。羽津の西北部を廻る「いかるがの里」ウォークラリーと銘打って開催しました。幸いに天候に恵まれ参加者も多く好評だったと思います。コース内容に触れてみますと、羽津北小学校をスタートして、いかるがの浄恩寺を廻り、東垂坂一号公園、元三大師垂坂山観音寺、ここで昼食、立坂神社、南垂坂を



廻り、羽津中学校、別名三丁目、四丁目、五、六丁目で羽津北小学校でゴール。このコースが北廻りで南廻りはこの逆廻りでした。これからもウォークラリーを通じて、羽津の町を皆様に知っていただきたいと思えます。

## 福祉部会

- (1)ねたきり老人訪問  
五月二十六日、手づくり菓子と、タオルで作ったマスコット犬を持参して、民生委員とボランティアで友愛訪問をしました。
- (2)聴覚障害者との交流会  
六月十四日、聴覚障害者を招き、ボランティア「ふれあいの会」と手話教室「はばたきの会」の合同で交流会をしました。
- (3)敬老会  
九月十五日、七十歳以上の方に、○健康肩あてベスト、○宝船絵入手拭、○敬老会名簿、○志氏神社御神饌を持参し、訪問しました。
- (4)独居老人との懇親会  
十一月七日、勝六流邦楽会の民謡、おどりを楽しみながら、栄養士さん指導で、ボランティアの作ったごちそうを楽しんで頂きました。
- (5)ねたきり、独居老人、重度障害者への年賀状  
十二月八日、伊勢型紙を作り、年賀ハガキにすりこみ、ボランティアと民生委員が対象者に二枚ずつ届くように年賀状を書きました。

## 広報文化部

- (1)広報紙の発行  
地区広報第30号 H7・10・25発行  
地区広報第31号 H8・3・25発行
- (2)盆踊り大会  
地域社会づくり事業の一環として8月14・15日、羽津小学校にて開催。地区各種団体の協力を得てかつてない盛りあがりを見る。
- (3)第16回文化祭  
3月2日、3日の両日、羽津会館と

津幼稚園を会場に開催した。作品展示では、各サークル及び一般から出展された作品がならび、芸能発表では、伝統芸能の獅子舞を中南条獅子連中が披露、また「情炎太鼓」及び青少年協演奏バンドクラブの熱演が文化祭に花を添えた。尚、特別展示として阪神淡路大震災に学ぶ防災コーナーを設け、地区の皆さんの関心を集めた。

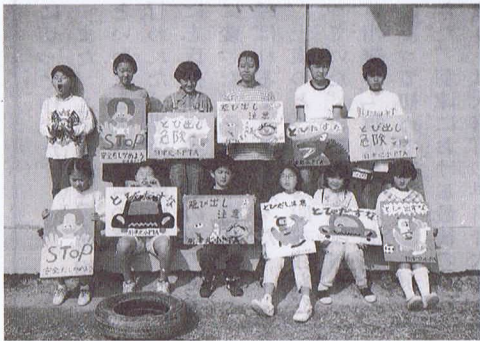
## 手作り看板

羽津北小PTA安全部長  
筒井寿行

羽津地区の皆様には、平素からPTA活動に御協力いただきまして有難うございます。

借越ですが、羽津北小PTA安全部の平成七年度の活動内容を一部紹介します。

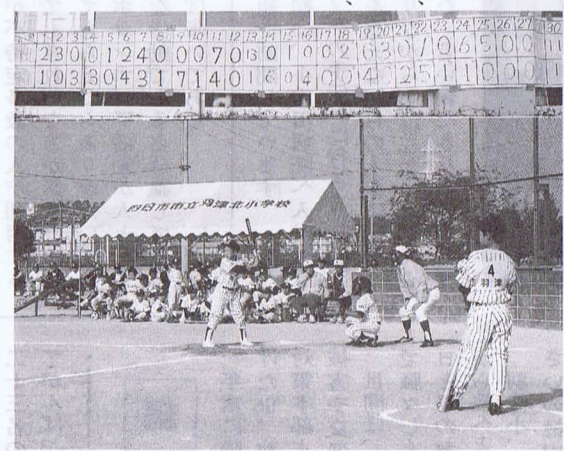
例年は、交通安全の一環として交通安全の看板を業者に委託し、それを掲示していたのですが、今年度は、当事者意識を深めようという目的で「児童達による手作り看板」を作成し掲示しました。看板の原画は、夏休みに子供達から募集し、その中から五選出し、二学期の土曜日の午後、児童の希



望者・先生・安全部員等で作画しました。心のこもった楽しい作品が出来たと思っております。各町内の見やすい箇所に掲示してありますので、是非御覧下さい。掲示場所を提供して下さいの方々に感謝しております。ありがとうございました。

## 健康推進部会 マラソン・ソフトボール大会

企画に取り組むに当り、最初から長時間は無理だろうし、会場の都合、それから日程の都合、それから日程の準備もしなければと、体振のメンバーは短い会合時間に、それぞれの疲れた頭を悩ましたものです。昼食はインテアカ部の奥さんに、豚汁を担当していただき、青少協の皆さんの協力と、変わりやすい秋の空まで味方になってくれました。



結果は一〇〇対七六で羽津北の勝ち、参加総人数は二百六十名を超えていたということでした。一つの行事を成し遂げたのではなく、みんなと共に楽しんだと思えば、満足もひとしおでした。

他地域で、マラソンソフトボール大会を行っているニュースを耳にしますが、今回の大会は、今年この企画に取り組むに当り、最初から長時間は無理だろうし、会場の都合、それから日程の都合、それから日程の準備もしなければと、体振のメンバーは短い会合時間に、それぞれの疲れた頭を悩ましたものです。昼食はインテアカ部の奥さんに、豚汁を担当していただき、青少協の皆さんの協力と、変わりやすい秋の空まで味方になってくれました。

羽津地区の皆さんが一同に集まり、共に楽しめるソフトボールもその一つだと思います。ツは何かと考えた「ソフトボール」もその一つだと思います。羽津北小学校をスタートして、いかるがの浄恩寺を廻り、東垂坂一号公園、元三大師垂坂山観音寺、ここで昼食、立坂神社、南垂坂を

# 羽津のむかし

## 第2集から「節供」



四月三日は、暦の上では神武天皇祭となっていたが、当地では、この日を「節供」といつていた。おそらく、これは旧暦の三月三日の節供を意識していたもので、新暦となってからも昔の節供の日を實質的に残存せしめていたものと思われる。



その証拠に、この日「菱モチ」を作って神仏に供え、また仕事も一日休んだ。この日に仕事をすると「ものぐさの節供仕事」といい、人に馬鹿にされた。「菱モチ」は、白で搗いた白モチの間に、ヨムギ(蓬)を搗きこんだ「ヨムギモチ」をはさんで三つ重ねにしたものを菱形

に切って作った。

また、この日には「花相撲」といわれる大人たちの草相撲も行われた。場所は城山で、のちに志氏神社の参集殿の西の広場に変った。それで「宮相撲」と呼ばれるようになった。

土俵のところには四本柱も立っていた。この四本柱は村から草相撲の「頭取り」が出ることによって初めて立てることができた。羽津における最後の「頭取り」は大宮町の早川音次郎さんであった。

この草相撲、昔は他の祭りの時などにも盛んに行われたが、大正の頃には四月三日の「花相撲」だけになっており、これさえも戦前には廃止されてしまったのであった。尚、この

「節供」の日は、潮がよく引いて貝類がたくさん採れるといわれ、前の浜へ大勢が潮干狩りに出かけていったものである。

(原文のまま掲載)



羽津スポーツ少年団では、平成七年十二月九日第二土曜日に、ボランティア活動として、地区の清掃作業を実施しました。

場所は、幾つかの候補の中から、志氏神社、いかるが神社、霞ヶ浦駅、昭石グラウンド付近の四ヶ所と決定した。それぞれの場所に二百数十人の団員が別れ、ゴミを分別

しながらの収集となった。不特定多数の人達が利用する場所だけに色々なゴミがたくさん集まってきた。燃えるゴミは焼却処分、プラスチック、金属等は市の収集日に出し、缶類は森金属さんに処分をお願いした。

収集後の団員にはスポーツ少年団名物の豚汁を振る舞って暖かさとお腹を満喫してもらった。

この活動を通じて、団員の子供たちが不特定多数の人が利用する場所でもきれいな方が素敵だと認識してもらえたらありがたい。また、ボランティア活動が人として自然な活動であると認識してもらえれば幸いである。

人一組で訪問しています。

最初は、小山田病院へ入浴ボランティアの手伝いに行きましたが、老人を支えながらの入浴に汗だくになりながら、お世話をしました。また、若い寝たきりの方の介護

## ボランティア 羽津ふれあいの会

藤尾 愛子

平成元年、ボランティアに関心を持つ仲間が集まって「羽津ふれあいの会」を結成しました。月一回定例会をもち、春には寝たきり老人訪問、秋には市民センターで一人暮らし老人との懇親会を催して、昼食は私達の手作り料理を食べてもらい、歌や踊りなどで楽しんで頂いております。

また、地区の行事には積極的に参加し、一人暮らしの方から依頼があれば、お手伝いや話相手に二



## 編集後記

と話相手に行きましたが、その後この方は病気の進行が早く、亡くなられ、とても悲しい思いをしました。

この八年間、多くの出逢いや別れがあり反省もしました。今は亡き主人が「人の為にするのではなく、自分自身の為にする」という場を作ってくれた人達に感謝しながら、一生懸命に「しなさい」と言ってくれた言葉を胸に秘めながら、二十三名の会員の皆さんと協力してがんばっていきたいと思います。

年末に降った大雪の後遺症で明けた'96。観測史上に残る積雪に、対策本部までできました。家屋の被害や交通渋滞に難儀しました。世間は、住専問題や、薬害問題で騒々しく動いています。梅から桜へと花も変わっていきます。羽津小、羽津北小周辺に、あじさいの植樹がされました。今夏、来夏、あじやかなあじさいの花が見られることでしょう。

### 編集委員

- 山本 鉄男・久志本 隆
- 藤井 久子・井上キヨ子
- 森 香英子・森 大介
- 横田いつ子・加藤 洋子
- 久志本忠典・西沢 喜弘
- 田中 逸夫

羽津地区市民センター